

J-STAGE12/22リリース機能について

公開システム

編集掲載システム

1. JOIを、国際識別子DOIに一本化します。

12月22日公開分から

- **公開システム**画面において、識別子表示をDOIに統一します。
 - J-STAGEでは、これまで論文記事情報等の識別子について、JOI(JST Object Identifier)およびDOIを並行する形で運用してまいりましたが、このほど、国際標準化の進むDOIに一本化することとなりました。
 - 本件は、平成25年度利用学協会意見交換会(H26.3)、平成26年度説明会(H26.6)でのご案内と同内容です。

情報管理 記事言語: Japanese ▼
 Vol. 56 (2013) No. 12 P 813-821 次の記事 ▶

DOI <http://dx.doi.org/10.1241/johokanri.56.813>
JOI [DNJUST.JSTAGE/johokanri/56.813](http://dx.doi.org/10.1241/johokanri.56.813)



情報管理 記事言語: Japanese ▼
 Vol. 56 (2013) No. 12 P 813-821 次の記事 ▶

DOI <http://dx.doi.org/10.1241/johokanri.56.813>

- 国際標準の識別子「DOI」を利用することで、国内外からのより確実なアクセスが期待できます。
- 今後、J-STAGE記事へのリンクはDOIをご利用ください。
(J-STAGEリンクポリシー)
https://www.jstage.jst.go.jp/pub/html/AY04S130_ja.html
- すでに登録済みのJOIに対するリダイレクトは継続して行います。

(利用学協会(発行機関)のみなさまへ)

- 2015年3月末までは、**編集掲載システム**画面の一部(プレビュー表示等)においてJOIに相当する表示が残存します。
- 通常のJ-STAGE利用において、学協会様において必要な作業・手続き等はありません。DOI登録に関する費用負担等はJSTが行います(これまでと変更ありません)。
- 冊子体や学協会Webページ等でJOIを掲載している場合は、今後アップロードされる記事については、DOIをご利用くださいますようお願いいたします。

(利用学協会(発行機関)のみなさまへ)

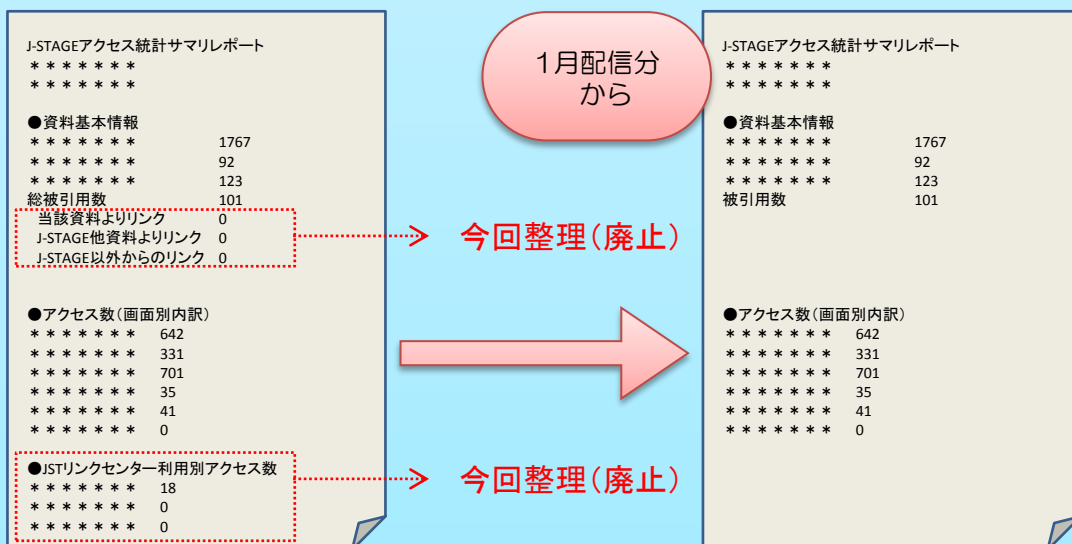
2. アクセス統計レポートフォーマットを整理します。

- 現行のJaLC(ジャパンリンクセンター)のメジャーバージョンアップとして「JaLC2」(通称)がリリースされます。これに際し、JaLCから提供されるデータ項目に変更が生じるため、毎月お届けしているアクセス統計の表示等が一部変更となります。
 - 変更は1月中旬配信予定の12月アクセス分集計から適用されます。
- 「JSTリンクセンター利用別アクセス数」項目の整理(廃止)
 - 被引用数内訳項目の整理(廃止)
 - 「当該資料よりリンク」
 - 「J-STAGE他資料よりリンク」
 - 「J-STAGE以外からのリンク」

(背景)

インターネット環境の進展やDOIの普及、J-STAGEにおけるrobots.txt対応の廃止等にもなっており、J-STAGEコンテンツへのリンクやアクセスの形態が多様化してきており、現行JaLCがリンクのランディング(経由サイト)情報を網羅的に把握することが難しくなっている面があります。JaLCにおいては、リンク機能の向上・強化を主眼として今後の機能拡充等を実施する方向性となったことを受け、ランディング情報等については、J-STAGE等コンテンツプラットフォーム側で今後別途機能開発を実施することを検討いたします。

- 通常のJ-STAGE利用において、学協会様において必要な作業・手続き等はありません。
- 現状のアクセス統計フォーマットから、上記の項目を整理しますので、レポートをExcelにエクスポートして集計するマクロ等を運用されているような場合、作業対象セル等を一部変更することが必要になるケースが想定されます。



- 「1. JOIを、国際識別子DOIに一本化します。」でご案内のとおり、記事別アクセスレポート等におけるJOI表示もDOI表示に変更となります。